

地域の誇りと愛着に根差した郷土芸能 次代を担う若人が魅せる

わこど



日南町総合文化センター 開館20周年記念

鳥取県青少年 郷土芸能の祭典

2016



郷土 芸能

Local Performing Arts

Local Performing Arts

想いを紡ぐ
若き伝承者たち

平成28年

8月28日 日

開場 12:30
開演 13:00
終演予定 15:50

日南町総合文化センター さつきホール

全席自由 一般：500円 (財団友の会 プレミアム会員 300円)
高校生以下：無料(整理券必要)

※障がい者手帳をお持ちの方及び介添え者1名様まで無料(整理券必要)

●プレイガイド ★財団友の会プレミアム会員割引 対応プレイガイド

- [東 部] とりぎん文化会館*
- [中 部] 倉吉未来中心*
- [西 部] アルテプラザ(財団西部事務所/米子天満屋4階)*
日南町総合文化センター

●主 催 / (公財)鳥取県文化振興財団、日南町総合文化センター、日南町教育委員会

●協 賛 TOTTORI BANK 鳥取銀行 ●特別後援 / 新日本海新聞社

●後 援 / 鳥取県、鳥取県教育委員会、日南町、米子市、米子市教育委員会、境港市、境港市教育委員会、大山町、大山町教育委員会、伯耆町、伯耆町教育委員会、南部町、南部町教育委員会、江府町、江府町教育委員会、日野町、日野町教育委員会、日吉津村、日吉津村教育委員会、三朝町、三朝町教育委員会

お問い合わせ とりぎん文化会館 0857-21-8700



地域の誇りと愛着に根差した郷土芸能、次代を担う若人が魅せる

鳥取県青少年 郷土芸能の祭典 2016

～想いを紡ぐ 若き伝承者たち～

鳥取県文化振興財団では、次代を担う県内の青少年による「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」を平成15年度より開催しています。平成26～30年度のテーマは、「発掘」、「伝承」、「発信」、「交流」。今年度は、郷土芸能の「発掘」、「伝承」を柱に、西部地区のさまざまな郷土芸能が集結！青少年による勇気と自信に満ち溢れたステージをぜひ会場でご覧ください。

司会進行 **宇田川 修一** (BSS山陰放送アナウンサー)

和太鼓



米子市 米子がいな太鼓保存会 若あゆ連
演目 旋風＝旋喜の曲、真風の曲＝

「米子がいな太鼓」の曲の特徴はオーケストラ風のリズム組曲で、曲が起承転結、言い換えれば季節が流れるように、次から次へと変化して行きます。また所作(しよさ)にも大きな特徴があり、武道にも似た力強い切れのある所作が特徴です。

舞踊
唄・音楽



米子市 鳥取県立米子白鳳高等学校 郷土芸能部
演目 淀江さんご節

江戸時代から伝わる郷土民謡。港町淀江にやってきた船乗りたちの持ち寄った唄と地元淀江の唄が溶け合い、独特の唄に発展していきました。港町特有の健康的で躍動感あふれる「淀江さんご節」の調べにのせて、「銭太鼓」「傘踊り」「壁塗り踊り」を演じます。

歌舞伎



南部町 法勝寺歌舞伎保存会 ども歌舞伎
演目 「白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場」

義賊と噂の高かった白浪五人男は浜松屋を襲はずだったが、ひょんなことから複雑な人間関係がわかり、襲うことをあきらめます。しかしときすでに遅く、捕り手が迫り、捕まることを覚悟した6人が、1人1人が名を名乗り、格好よく見得を切り、真っ向から勝負を挑むという「稲瀬川勢揃いの場」の名場面を演じます。

神楽



日野町 鳥取県立日野高等学校 郷土芸能部
演目 荒神神楽「八重垣能」

荒神神楽「八重垣能」は出雲神話、古事記でおなじみの八岐大蛇(やまたのおろち)退治を神楽化したものです。傍若無人(ほうじゃくぶじん)な振る舞いを繰り返す、稲田姫(いなたひめ)を連れ去ろうとする八岐大蛇をササノオノミコトが退治し姫を助ける物語を演じます。

祭礼行列
太鼓



日南町 福栄伝統芸能保存会
演目 福栄かしら打ち

「福栄かしら打ち」の始まりは明治以前からと伝えられています。太鼓を打ちながら歌われる文句には古風なものも伝承しており、「福栄かしら打ち」の往時の姿を彷彿とさせる貴重なものであります。毎年、福栄神社の秋祭りに各地区を回り、小学生が小太鼓を打ち鳴らし、家内安全・五穀豊穰(ごこほうじょう)の祈念と感謝を込め奉納しています。

和太鼓



日南町 奥日野源流太鼓
演目 「源流」「日南の風」

遙かなる山々から滾々(こんこん)と湧き出る泉、日野川源流が奏でる悠久の響き、生命の息吹が心と肉体に宿り、そして魂を揺さぶる。そんなイメージで打ち鳴らされる太鼓に、「日南に太鼓の音を響かせたい」という郷土への愛着を込めて演奏します。

祭礼行列
太鼓



日南町 多里かしら打ち保存会
演目 多里かしら打ち

1つの太鼓に4名の叩き手がつき、ほんまりが付いたバチで太鼓を打ちます。これに露払い「猿田彦(さるたひこ)」と、おどけ役「チャリ」の2名が付き、先触れの役を担っています。「多里かしら打ち」には8種類の打ち方があり、はやしもそれぞれ違い、氏子の喜びと神への感謝の気持ちが表現されています。

舞踊
盆踊り

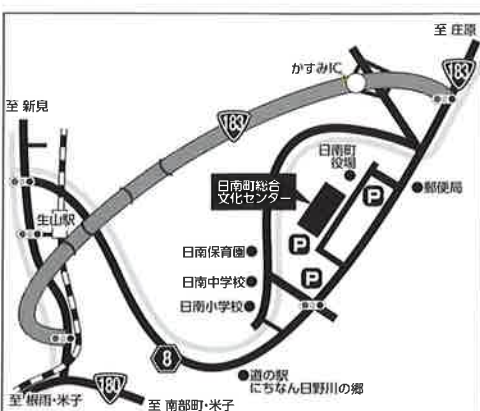
中部地区 ゲスト出演



三朝町 三朝南小学校さいとりさし少年団
演目 三朝さいとりさし

さいとりさしは、殿様の鷹狩りの際に使用する餌を捕ることを意味し、これを職業とした人の職名。殺生することが忌み嫌われたため、鳥を捕る様子をおもしろおかしく踊ったのが始まりと伝えられています。現在は祝狂言となっており、三朝のさいとりさしでは三徳山を舞台にした、和尚との問答を演じます。

●日南町総合文化センターへのアクセス



住所:鳥取県日野郡日南町霞785

☎ 0859-77-1111

◀お車でのアクセス▶

米子自動車道「江府IC」より30分

◀バスでのアクセス▶

日南町営バス「日南中学校前」バス停より徒歩3分

●お問い合わせ

とりぎん文化会館

☎ 0857-21-8700

開館時間 9:00～22:00

住所 鳥取市尚徳町101-5

休館日 第2・4・5月曜日(休日の場合は、その翌日)

ホームページ <http://site.torikenmin.jp/>

公演情報はこちら！



※出演団体・演目等、変更となる場合がございます。